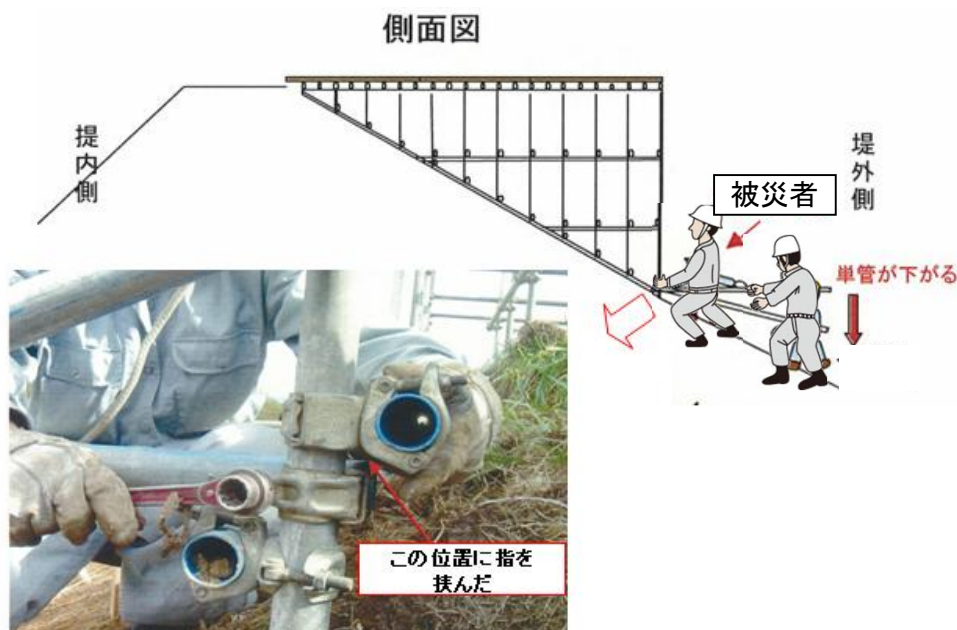


『足場組立中、固定不足のクランプが動き単管に指挟み負傷』

発生年月	平成 年10月
時刻	14:40頃
被災者	とび工(20歳)
傷病名・部位	右環指末節骨開放骨折（不休災害）

- ◎ 発生状況
1. 当日、被災者はグラウト用足場の組立作業を行っていた。
足場の単管を二人で取付ける際、単管端部を固定しようとしていた。
 2. 被災者の合図を聞いたもう一方にいた作業主任者が、単管を下げたとき被災者側の取付中の直交クランプが固定されていなかったため、クランプが動き支点となって、被災者側の単管が持ち上がったために、既設単管との間にあった右手が挟まれ、右手第4指を負傷した。（被災者は皮手袋を着用）

◎ 被災状況



◎ コメント

- ・作業手順の改善を図り、決められた手順を全ての作業員へ周知させること。
- ・新規入場1週間以内の作業員に対しては特に作業配置に配慮すること。
- ・作業に潜む危険に対する感受性をKY活動等により高める指導をすること。
- ・入場初日の3名で作業を開始しており、危険意識の欠如がみられること。